

文化と交流

第4号(2005年2月号)

発行/周防大島文化交流センター

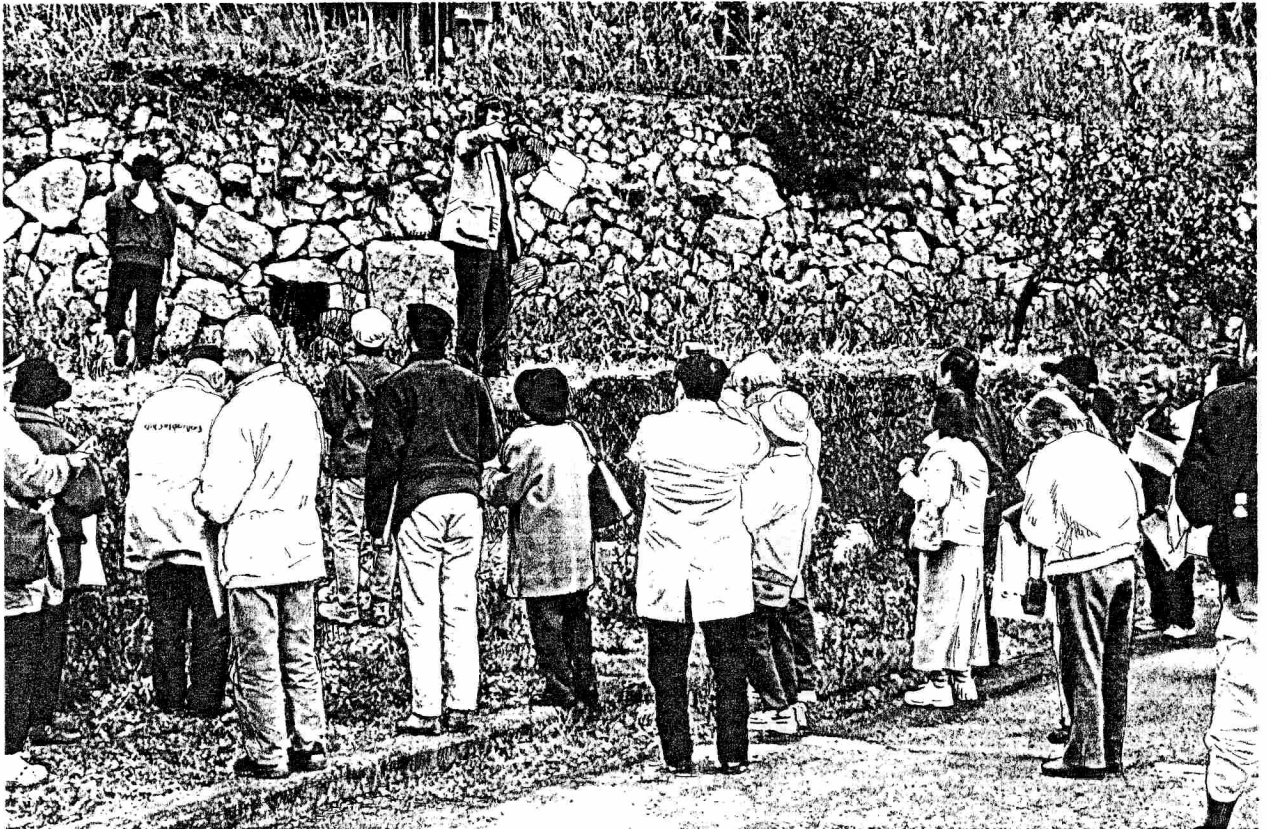
〒742-2512 山口県大島郡周防大島町大字平野 417-11

ホームページアドレス <http://www.towatown.jp/koryu-center/koryu.htm>

電話・ファックス 0820-78-2514

図書室専用の電話 0820-78-0629

庄地のスイドウ（上段二人の間に見えるのが、その一部）



石積み の 技 再 評 価

「久賀の石積み柵田をあるく」と題した体験学習会が一月二十九日、周防大島文化交流センターと八幡生涯学習のむらの主催で開かれ、県内外から約五〇人が参加しました。

講師は愛知大学教授の印南敏秀さん。印南さんは昭和五十四年から翌年にかけて、宮本常一指導のもと久賀の民俗文化を調査したメンバーの一人。『東和町誌／石造物』『同／石風呂民俗誌』の二冊を著すなど、長年石造物の研究を続けています。

久賀は瀬戸内海島嶼部で石積み柵田が最も発達した地域で、全国最大規模のスイドウ（柵田の灌漑施設）があることでも知られています。参加者は庄地のスイドウ（県有形民俗文化財）や新波止など、久賀の代表的な石造物を見学し、印南さんの説明に熱心に聞き入っていました。

印南さんは「久賀の石積み柵田やスイドウは、地元の農民たちが築いたもの。石が多く、水に恵まれ、傾斜地だったことから高度な石積み技術が発達し、見事な景観を生み出したのでしょう」と解説。

参加者の一人、山根耕治さん（広島市）は「母の実家が庄地のスイドウの近くにあり、今回の体験学習会でその価値を再認識しました。仲間を募って石垣の草を刈り、昔の景観を復活させたい」と話していました。

また、翌日、東和総合センターで開かれた住民自主講座「周防大島郷土大学」でも、引き続き印南さんが講義をされ、前日同様、大勢の参加者で賑わいました。

*二頁に関連記事

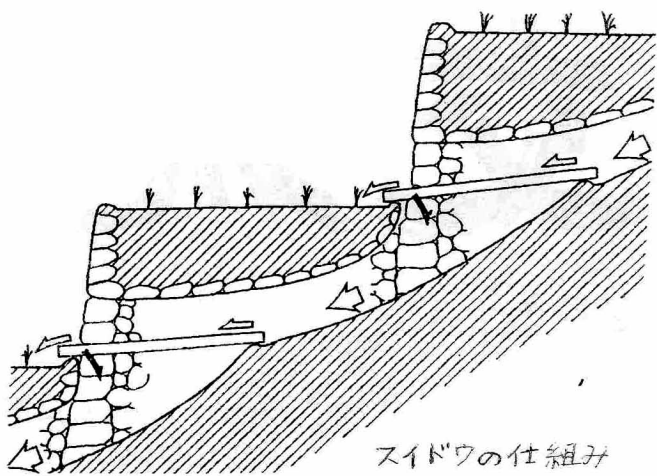
日常の技から職人技へ

久賀の石造物と石工たちの歴史

表紙で紹介した通り、久賀の石積み棚田やスイドウは、地元の農民たちによって築かれました。

スイドウとは棚田の灌漑のために造られた石組みの暗渠のこと。田に水を引くときは竹樋などを置いて取り入れ、水を抜くときはスイドウへ流せばよい仕組みになっています。

農民たちはスイドウを造ることで、水路の上まで耕地面積を拡張、灌漑の手間を大幅に削減することに成功しました。



スイドウの仕組み

石積み棚田やスイドウ造りを通じて、農民たちは高度な石積み技術を身に付けました。この技術は久賀を港町として発展させる切っ掛けとなった波止の建設にも応用されています。

強い北風が吹き良港とはいえなかった久賀に、江戸時代後期から明治にかけて丈夫な波止を築いた結果、船の往来が活発になりました。

その頃から、多くの人々が石工の出稼ぎをするようになり、西瀬戸内海や北九州などの広い地域に見事な石垣や波止を築きました。

また、東京へ遷都後、寂れる一方だった京都を復興する目的で行われた琵琶湖疎水工事でも、久賀の石工たちが重要な役割を果たしたことが記録に残っています。

しかし、明治三〇年頃から、石工に代わってハワイ移民が出稼ぎの主流になり、以後、石工は減少の一途を辿りました。

昭和三〇年頃に弟子入りした二人の石工が、久賀の伝統的な技術を受け継いだ「最後の石工」になり、その見事な石積みの技は忘れられつつあります。「棚田ブーム」といわれているいまこそ、彼らの残した文化的遺産をもう一度見直したいものです。

地域文庫の本を入れ替えました



一月下旬、町内九か所にある地域文庫の本を入れ替えました。皆さん、ぜひご利用下さい。

▼地域文庫に関するお問い合わせ先

伊保田	油田出張所	Tel 75 - 0001
油	宇(油宇公民館に設置)	
内	入 岡川 豊さん	Tel 75 - 0311
大	積 岩本 信行さん	Tel 75 - 0562
	大積(大積公民館に設置)	
船	越 竹田 英雄さん	Tel 78 - 1341
外	入 浜本 吉一さん	Tel 78 - 0889
佐	連 白木出張所	Tel 78 - 0035
地	家室 岡村美千子さん	Tel 78 - 0039
	地家室(地家室会館に設置)	
富	田 民夫さん	Tel 78 - 1424
新	山 玄雄さん	Tel 78 - 0615
	沖家室(沖家室事務所設置)	

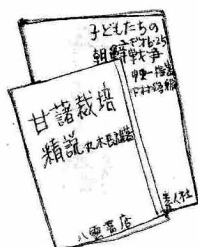
図書整理のボランティア活動開始

最近、河井弘志さん(目前)を中心とするボランティアグループが、交流センター図書室の本の整理を手伝って下さっています。

河井さんは元立教大学教授で図書館学の権威。「本は血液といわれるように、常に新しい本を補充しないと貸出冊数が減りますが、その一方で置き場のなくなった本を処分しなければなりません。処分する本を選ぶのは難しい作業です」と河井さんは話します。

あまり借りられないという理由だけで貴重な本が処分され、各地で問題になっている昨今、「同じような問題が起きないように、多くの人に選書していただくのが、この度の活動の目的」と語っていました。

ご協力ありがとうございます。



お手伝いします！本のぬくもり、心のやすらぎ

第1回 周防大島文化交流センター

図書室まつい



- 開催日 平成17年2月26日(土)
- 場所 周防大島文化交流センター図書室・研修室
- 日程

・ 9:30

図書室開館、本の貸出開始 本・おもちゃなどのリサイクルショップ開店

10:00~11:30

特別講演

「柱島が生んだ幕末の英才

赤祢武人をめぐる人物と思想・業績」

講師 折本 章さん

高杉晋作と対立し、非業の最期をとげた赤祢武人(あかね・たけと)。大島の月性や周防大島との関わりなど、その生涯を辿りながら、知られざる「周防の維新史」の一端にスポットを当てます。

14:00~14:40

人形劇団しゃぼん玉の公演「やさしい森」

*公演終了後に、ぜんざいの接待があります。



・ 18:00 図書室閉館

- 主催 周防大島文化交流センター図書室
- 協力 東和地区読書会連絡協議会、おはなしの会ポンポコ、ちっちゃなおはなし会、とうわ図書館友の会、ボランティアとうわの会



折本章さん

プロフィール

昭和十五年、周防大島町森に生まれる。昭和三十三年、山口大学に入学し吉田松陰研究の第一人者・玖村敏雄教授に師事。その後、教員を勤めながら執筆・講演活動が続ける。平成九年、十年、防長新聞に「有識の士 高杉晋作 幕末乱世を走る」を連載。平成十二年、防長新聞に入社。現在岩国市在住。

著書は『吉田松陰と教育』『有識の士 高杉晋作 幕末乱世を走る』など多数。

人形劇団しゃぼん玉

プロフィール

平成四年の「光人形劇フェスティバル」に出演したメンバーが、本格的に人形劇を演じてみようとして翌年「人形劇団しゃぼん玉」を発足。人形と一緒にどこへでも出かけていく元気な女性たちの集まりです。

キリトリ線

お子様向け

お楽しみプレゼント

引換券



一般書

義経……………宮尾 登美子
鼠、江戸を疾る……………赤川 次郎
剣客春秋 - 濡れぎぬ - ……鳥羽 亮
長恨歌 - 不夜城 完結編 - ……馳 星周
黒革の手帖 上・下……………松本 清張
アイムソーリー、ママ……………桐野 夏生
駅までの道をおしえて……………伊集院 静
オデパン……………藤本 ひとみ
なんくるない……………よしもと ばなな
おやすみ前にブラッシング 100 回……………メリッサ・P
負け犬の遠吠え……………酒井 順子
もう夫には恋はできない……………黒木 瞳
真夜中の独りごと……………瀬戸内 寂聴
夜回り先生の卒業証書……………水谷 修
みみずくの日々好日……………五木 寛之
年中無休スタジアム……………乙武 洋匡
ネグレクト - 育児放棄 - ……杉山 春
キャッシュカードがあぶない……………柳田 邦男
94歳の百姓道楽……………井原 隆一
いつでもいまが出発点……………宇佐美 百合子
高齢者が子どもの『脳』を育てる……………川島 隆太
(図解) みるみる字が上手くなる本……………田中 鳴舟
重曹生活のススメ……………岩尾 明子
心のこもった手作りのプレゼント雑貨…ブティック社
5分でできる介護食…在宅栄養アドバイザー「E-net」

人気の鍋もの102……………世界文化社
好き嫌いをなくす子どもレシピ……………山崎 典子
満腹! 50円おかず150円献立……………主婦の友社
パワーヨガで内側からキレイになる! ……綿本 彰
あらすじで読む名作歌舞伎50……………利根川 裕
芭蕉全句 - 袖珍版 - ……松尾 芭蕉
ジャズ入門……………200CDジャズ入門編集委員会
日本絵画の見方……………榊原 悟
古文書返却の旅……………網野 善彦

児童書

ハウルの動く城……………徳間書店
トーマスきやくしゃをひく……………ポプラ社
かいけつゾロリたべられる!! ……原 ゆたか
ズッコケ三人組の卒業式……………那須 正幹
ターちゃんのでぶくろ……………おおしま たえこ
はいけい、たべちゃうぞ……………はらだ ゆうこ
そばせい (落語絵本9) ……川端 誠
まねきねこたい吉のゆめ……………きたやま ようこ
へんてこライオンがいっぱい……………長 新太
くまのこミンのふゆじたく……………あだち なみ
火の鳥⑬⑭⑮⑯……………手塚 治虫
JR特急 (電車ものしりずかん) ……結解 学
政治のしくみがわかる (ドラえものの学習シリーズ)
……………小学館
しもばしら (かがくのとも傑作集) ……野坂 勇作

交流センター図書室で一月十一日、乳幼児とその保護者を対象とした「ちっちゃなおはなし会」が始まりました。
絵本の読み聞かせや簡単な工作、赤ちゃんの体重測定もあり、この日は十人の親子が参加。お世話係の新川美貴枝さん(伊保田)は、「絵本を楽しみながら、子育てについて気軽に話し合える場にした」と張り切っている。

絵本を囲んで親子交流



ちっちゃなおはなし会

ました。

▼次回開催日時

三月十五日(火) 午前十時

▼お問い合わせ先

お世話係 新川 美貴枝さん

TEL 75-0509



交流センター図書室

読書と紙しばいの会

飛び入り参加大歓迎

3月12日(土) 午後2時～

3月26日(土) 午後2時～

3月12日はハーブと切り花用の花を植えます。

